

26/11 稚アユ大きく育て

日南広渡川漁協（戸田博組合長、335人）は9日、日南市北郷町大藤の広渡川で稚アユの放流を行った。10センチほどのアユは、漁が解禁となる6月に20センチ前後にまで成長し、漁師や釣り人らを楽しませるといふ。

同漁協によると、放流したのは宮崎市清武町の養魚場で生育した約40センチ（4千匹）。4月下旬以降、広渡川（鶴ノ木、平佐、北郷小中裏、北河内）に計約160センチ、酒谷川（本町橋上流、酒谷中前、深



稚アユを放流する日南広渡川漁協の組合員ら

瀬、新村）に計約120センチを放流する予定という。

日南・広渡川で地元漁協放流

同日は、アユが入ったタンクを積んだトラックが川岸に

到着すると、組合員らがバケツやホースを使って次々に放流。市の担当者ら関係者が見守る中、勢いよく川に泳ぎだしていた。

戸田組合長は「ここ3年は天候不順やカワウの被害、密漁などで不漁が続いている。今年放流した稚アユは元気に育ってもらいたい」と話していた。